

H26
導入

超微小物性自動測定システム

いわき

(DUH-211S)

装置の概要

【型式等】

装置名称：ダイナミック超微小硬度計

メーカー：(株)島津製作所

型式：DUH-211S

【仕様】

○評価項目：マルテン硬度、押し込み硬度、ビッカース硬度等

○試験力範囲：0.1~1,961mN

○測定最小単位：0.196μN

○試料台移動範囲：X,Y軸共に25mm

○自動測定：最大100点



薄い金属やガラス表面の硬さが自動で測れます！

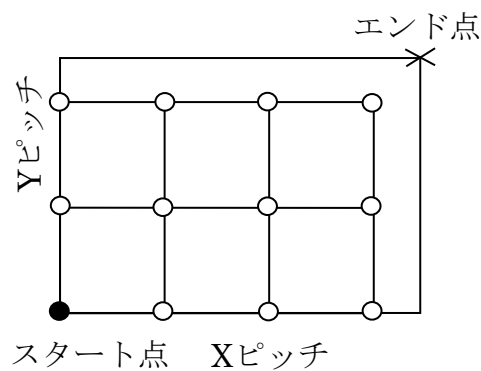
【装置の特徴】

ビッカース硬度等の一般的な硬度試験は、大きな荷重で圧子を押し込むので、板厚10μm以下の薄い材料の硬さを測ることはできませんでした。また、押し込んだ際の圧痕の大きさを測るので、ガラス等、圧痕が残りにくい材料の測定もできませんでした。

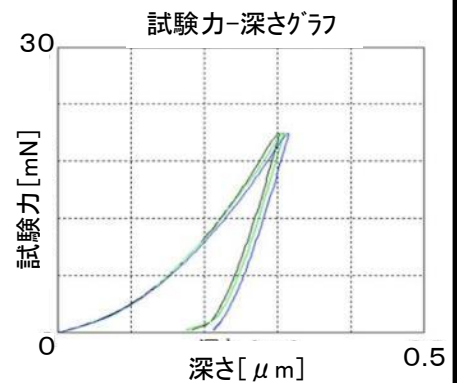
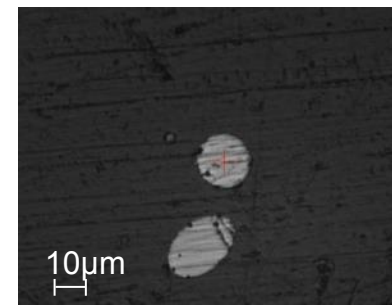
本装置は微小な荷重で圧子を押し込み、荷重と圧子の移動量から硬さを求めるので、1μm程度の薄い材料や、圧痕がつきにくい材料の硬さが測定できます。また、電動X-Yテーブルを装備しているので、ピッチや位置を入力して測定パターンを登録することによって、自動測定も可能です。

【主な用途】

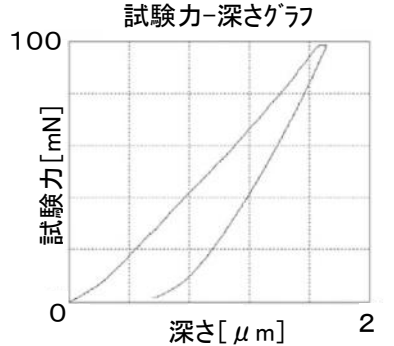
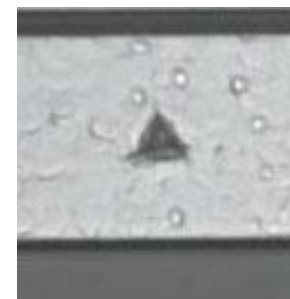
- メッキのマルテンス硬度測定
- 薄膜の弾性率測定
- 炭素繊維等、微細繊維の強度試験
- 線材の押し込み硬度試験
- ゴムの硬度試験
- セラミックスの表面強度試験
- 自動測定による硬度分布の評価



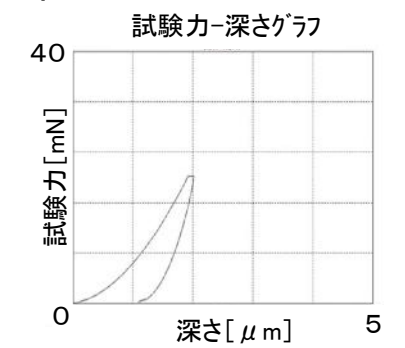
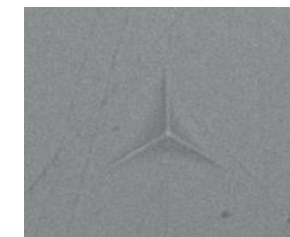
＜自動測定パターンの例＞



＜測定例1＞プラスチック中の繊維材料



＜測定例2＞厚さ数μmのニッケルメッキ



＜測定例3＞反射率が低いプラスチック材料

料金・問い合わせ先

	区分	単位	料金(円)
設備使用	超微小物性自動測定システム (DUH-211S)	1時間ごと	1,030
依頼試験	超微小物性自動測定システムによる測定	10点まで	6,120
		10点を超え10点につき	2,290

〒972-8312

いわき市常磐下船尾町杭出作 2 3 - 3 2

TEL : 0246-44-1475 (機械・材料科)

FAX : 0246-43-6958

併せて使うと効果的です！



微小硬度計
(240円/時間)



CNC三次元座標測定機
(6,730円/時間)